

# 薬剤吹付 種子

を使用する場合の作業手順(浸種～出芽)

ヘルシードまたはテクリードC吹き付け種子は消毒に必要な薬剤が籾の周りに付着しているだけで、消毒は完了していません。ポイントを確認して効果的に管理をしましょう。

## ヘルシード吹き付け種子

袋詰め

消毒

**重要**

消毒期間中水温の徹底

**12～15℃で24時間浸漬する。**

- ※お湯を使い水温18℃に調製し浸漬開始するなどの工夫が必要。
- ※10℃以下では籾内部への薬液浸透並びに薬効が不十分になる。
- ※低温が続く場合は、浸漬時間を延長する。
- ※消毒期間中は**静置**する。**循環禁止!**

浸種

水温**10～15℃**で**7～10日間**

最初の2日間は水交換をしない。  
その後は2～3日ごとに水交換

- ※水交換時に籾の状態を見て、上下入れ替えを行う。
- ※浸種期間中も**循環禁止**。
- ※水量は、**水3.5ℓ:籾1kg**を目安に。

籾がアメ色、籾殻が透けて胚芽が見えるようになったら浸種完了の合図

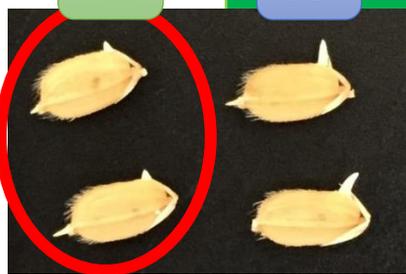
清潔な環境でフタをして管理

【留意点】

揃った芽揃いのためには、しっかりと浸種させることが不可欠です。温度や日数だけでなく、籾の状態を必ず確認しましょう。

適

伸



催芽

**重要**

**30℃**のぬるま湯を厳守

催芽前に湯通し(36～40℃)することで均一なハト胸に。  
**必ずハト胸状態を確認**してから種まきする。

水温確保が  
ポイント!

種まき

出芽

加温出芽は**30℃**。内部の様子をよく確認!  
無加温出芽は**適切な被覆資材を選択**して保温に努める  
素早い出芽で揃いヨシ!